



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月30日

上場会社名 株式会社バルカー 上場取引所 東  
 コード番号 7995 URL <https://www.valqua.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 C O O (氏名) 本坊 吉博  
 問合せ先責任者 (役職名) I R 室長 (氏名) 遠藤 浩志郎 TEL 03-5434-7372  
 四半期報告書提出予定日 2023年1月30日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	45,661	18.0	6,526	40.8	6,724	39.2	5,446	65.1
2022年3月期第3四半期	38,689	18.1	4,637	106.5	4,831	101.9	3,299	50.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 7,405百万円 (74.9%) 2022年3月期第3四半期 4,234百万円 (63.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	307.65	—
2022年3月期第3四半期	186.72	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	67,613	46,053	65.6
2022年3月期	60,200	40,979	66.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 44,322百万円 2022年3月期 39,728百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	75.00	125.00
2023年3月期	—	60.00	—		
2023年3月期(予想)				90.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,000	14.7	8,500	21.9	8,700	21.0	6,300	30.1	355.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	18,688,733株	2022年3月期	18,688,733株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	971,302株	2022年3月期	1,005,907株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	17,702,625株	2022年3月期3Q	17,668,503株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8
3. 補足情報 .....	9
(1) 受注の状況 .....	9
(2) 海外売上高 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ●概況

当第3四半期連結累計期間においては、ロシアによるウクライナへの侵攻が一段の資源高やモノ不足を誘発し、グローバル経済全体に大きな影響を及ぼしました。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症によって受けたダメージからの回復が期待されたものの、個人消費は円安の進行等に起因する物価高の影響を受けて伸び悩みが目立ち、また当社グループが属する製造業においては、海外におけるロックダウン、半導体及び部品の不足、原材料価格及び入手難易度の上昇等の要因により、一部の業種では一時的に生産への支障が生じる状況となりました。一方海外経済は、エネルギーをはじめとする物価高が顕著なものとなり、先行きへの警戒感が個人消費に悪影響を与え、また企業の生産活動の回復に向けた動きも鈍いものとなりました。

このような事業環境下当社グループは、当期から開始した2か年中期経営計画“New Frontier 2023”(NF2023)で掲げた「成長を守る」という視点に立ち、地政学リスクの増大に対応したサプライチェーンの見直し、半導体など成長市場に向けた製品競争力・供給能力の強化、DX(デジタルトランスフォーメーション)を柱とする攻守両面の企業改革等に取り組みました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高が456億6千1百万円(前年同期比18.0%増)、営業利益が65億2千6百万円(同40.8%増)、経常利益が67億2千4百万円(同39.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が54億4千6百万円(同65.1%増)となりました。

なお、第3四半期連結会計期間(3か月)における受注高は145億円、当四半期末の受注残高は149億4千5百万円となりました。

#### ●事業セグメント別の状況

当第3四半期連結累計期間における事業セグメント別の業績は、次のとおりです。

##### ・シール製品事業

シール製品事業は、半導体製造装置・デバイス向けなどの先端産業市場の売上が高水準の実績になったことに加え、国内のプラント定期修繕の動向を反映してプラント市場の販売も堅調に推移し、売上高は303億1千万円(前年同期比18.0%増)、セグメント利益は52億7千4百万円(同37.8%増)となりました。

##### ・機能樹脂製品事業

機能樹脂製品事業は、先端産業市場の売上が拡大したことに加え、一般産業機器や輸送用機器向けなどの機器市場及び高機能化学品用などのプラント市場の販売も増加し、売上高は130億5百万円(前年同期比18.4%増)、セグメント利益は12億9千8百万円(前年同期比38.8%増)となりました。

##### ・シリコンウエハーリサイクル事業他

シリコンウエハーリサイクル事業他は、主力事業は堅調に推移したものの、新規事業分野を含むH&S事業は開発費用等が先行的に発生し、売上高は23億4千5百万円(前年同期比16.9%増)、セグメント損失は4千6百万円(前年同期はセグメント損失1億2千6百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は676億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ74億1千2百万円増加いたしました。流動資産は408億3千8百万円となり、59億2百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加18億2千万円、原材料及び貯蔵品の増加14億5千2百万円、商品及び製品の増加12億1百万円、電子記録債権の増加11億3千4百万円等であります。固定資産は267億7千4百万円となり、15億9百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の増加15億9千6百万円等であります。

負債は、215億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億3千8百万円増加いたしました。流動負債は154億4千9百万円となり、21億1千2百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加13億8千2百万円の増加、流動負債のその他に含まれる契約負債の増加5億6千7百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加2億2千2百万円等であります。固定負債は61億9百万円となり、2億2千5百万円増加いたしました。主な要因は、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債の増加3億6千4百万円、長期借入金の減少1億3百万円等であります。

純資産は460億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億7千4百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加30億5千6百万円、為替換算調整勘定の増加15億2千6百万円、非支配株主持分の増加4億8千1百万円等であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の66.0%から65.6%となり、0.4ポイント低下しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績は、主に先端産業市場における販売が想定以上の水準となったことに加え、サプライチェーンの整備などの事業構造改革や原価低減に向けた取り組みを推進したことにより、売上高及び各利益ともに同四半期経過時の目安として設定した値を上回る実績となりました。

これを踏まえるとともに足許の業績動向を精査した結果、通期連結業績につきましても売上高及び各利益ともそれぞれ前回発表予想を上回る見込みとなりました。

そのため通期連結業績予想につきましては、売上高を前年同期比14.7%増の610億円、営業利益を同21.9%増の85億円、経常利益を同21.0%増の87億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同30.1%増の63億円へ修正いたしました。

詳細につきましては、本日開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、この予想には需要動向の変動並びに原材料価格及び物流費用の上昇を一定程度織り込んでおりますが、世界的なサプライチェーンの寸断、急激な外国為替水準の変動、新型コロナウイルス感染症の大規模な再拡大、ウクライナ情勢をはじめ世界各地における地政学的問題のさらなる悪化など当社グループの事業環境に大きな影響を及ぼす事態が発生した場合、予想値と実際の業績とは乖離する可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,144	8,257
受取手形、売掛金及び契約資産	14,625	16,446
電子記録債権	2,460	3,595
商品及び製品	3,940	5,141
仕掛品	962	1,039
原材料及び貯蔵品	2,164	3,616
その他	2,659	2,770
貸倒引当金	△22	△28
流動資産合計	34,935	40,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,799	7,677
土地	4,002	4,376
その他（純額）	5,744	5,436
有形固定資産合計	17,545	17,489
無形固定資産		
その他	1,516	1,399
無形固定資産合計	1,516	1,399
投資その他の資産		
投資有価証券	4,047	5,643
その他	2,154	2,241
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	6,202	7,885
固定資産合計	25,264	26,774
資産合計	60,200	67,613

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,721	7,103
電子記録債務	927	941
短期借入金	1,463	1,274
1年内返済予定の長期借入金	77	300
未払法人税等	1,094	829
賞与引当金	508	332
役員賞与引当金	70	62
その他	3,473	4,605
流動負債合計	13,336	15,449
固定負債		
長期借入金	3,632	3,528
退職給付に係る負債	472	424
その他	1,779	2,157
固定負債合計	5,883	6,109
負債合計	19,220	21,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,957	13,957
資本剰余金	4,061	4,103
利益剰余金	21,043	24,099
自己株式	△1,517	△1,465
株主資本合計	37,545	40,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,625	1,548
為替換算調整勘定	447	1,974
退職給付に係る調整累計額	110	103
その他の包括利益累計額合計	2,183	3,627
非支配株主持分	1,250	1,731
純資産合計	40,979	46,053
負債純資産合計	60,200	67,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	38,689	45,661
売上原価	23,319	26,700
売上総利益	15,370	18,961
販売費及び一般管理費	10,733	12,434
営業利益	4,637	6,526
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	43	52
設備賃貸料	261	190
持分法による投資利益	20	17
為替差益	62	75
その他	90	134
営業外収益合計	482	474
営業外費用		
支払利息	52	79
設備賃貸費用	203	149
その他	31	47
営業外費用合計	288	276
経常利益	4,831	6,724
特別利益		
有形固定資産売却益	—	1,085
関係会社出資金売却益	—	485
特別利益合計	—	1,570
特別損失		
固定資産廃棄損	10	31
減損損失	15	—
石綿疾病補償金	19	—
特別損失合計	44	31
税金等調整前四半期純利益	4,786	8,263
法人税、住民税及び事業税	1,173	1,972
法人税等調整額	194	359
法人税等合計	1,368	2,332
四半期純利益	3,418	5,931
非支配株主に帰属する四半期純利益	119	485
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,299	5,446



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,418	5,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	283	△76
為替換算調整勘定	525	1,558
退職給付に係る調整額	4	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△0
その他の包括利益合計	816	1,474
四半期包括利益	4,234	7,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,057	6,889
非支配株主に係る四半期包括利益	176	516

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I. 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	シール 製品事業	機能樹脂 製品事業	シリコン ウエハーリサ イクル事業他			
売上高						
外部顧客への売上高	25,695	10,986	2,007	38,689	—	38,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,695	10,986	2,007	38,689	—	38,689
セグメント利益又は損失 (△)	3,828	935	△126	4,637	—	4,637

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

## II. 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	シール 製品事業	機能樹脂 製品事業	シリコン ウエハーリサ イクル事業他			
売上高						
外部顧客への売上高	30,310	13,005	2,345	45,661	—	45,661
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	30,310	13,005	2,345	45,661	—	45,661
セグメント利益又は損失 (△)	5,274	1,298	△46	6,526	—	6,526

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

## 3. 補足情報

## (1) 受注の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高			受注残高		
	前第3四半期 連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	増減率(%)	前第3四半期 連結会計期間末 (2021年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2022年12月31日)	増減率(%)
シール製品事業	27,147	31,118	14.6	5,136	6,319	23.0
機能樹脂製品事業	12,729	14,825	16.5	5,539	8,408	51.8
シリコンウエハーリサイクル事業 業他	2,169	2,302	6.1	346	217	△37.1
合計	42,046	48,246	14.7	11,022	14,945	35.6

## (2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	9,492	3,619	117	13,228
II 連結売上高(百万円)				38,689
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	24.5	9.4	0.3	34.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は、次のとおりであります。

(1)アジア・・・・・・中国・台湾・タイ・シンガポール・韓国・ベトナム

(2)北米・・・・・・アメリカ合衆国

(3)その他の地域・・ヨーロッパ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国又は地域に対する売上高であります。

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	11,493	4,716	112	16,322
II 連結売上高(百万円)				45,661
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	25.2	10.3	0.2	35.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は、次のとおりであります。

(1)アジア・・・・・・中国・台湾・タイ・シンガポール・韓国・ベトナム

(2)北米・・・・・・アメリカ合衆国

(3)その他の地域・・ヨーロッパ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国又は地域に対する売上高であります。